

私たちは誠実を旨とし、  
本物・安心・健康な『食』の提供を通じて、  
人々の豊かなくらしとしあわせに貢献します。

## CONTENTS

グループ理念	40	持続的成長の基盤
1 プロフィール	42	サステナビリティマネジメント
2 マルハニチログループのあゆみ	44	「社会価値」の創造 お客さまへの価値
4 事業領域	46	従業員への価値
6 グローバル展開	48	お取引先への価値
8 価値創造プロセス	50	地域・社会への価値
10 財務・非財務サマリー	52	「環境価値」の創造 環境マネジメント
12 持続的成長の戦略	53	地球温暖化対策
14 社長メッセージ	54	循環型社会の構築
24 特集：マルハニチログループの強み	56	海洋資源の保全
30 セグメント別概況	58	コーポレート・ガバナンス
30 漁業・養殖セグメント	61	コンプライアンス
32 商事セグメント	62	社外取締役メッセージ
34 海外セグメント	64	リスクマネジメント
36 加工セグメント	66	取締役・監査役・執行役員
38 物流セグメント	68	株式情報
	69	会社情報

### 報告対象範囲

**報告対象期間** 2018年度(2018年4月～2019年3月) ※一部の情報については2019年4月以降の内容を含みます。

**報告対象組織** マルハニチログループ連結決算対象会社を基本としています。報告の内容により、範囲に含まれない組織がある場合があります。また、範囲が限定される場合は注記を入れています。

**発行日** 2019年10月(次回発行予定 2020年10月)

### 将来見通しに関する注意事項

マルハニチロ株式会社に関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外のすべての事実は、当社が現在入手している情報にもとづく、予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提を使用しています。これらの記述ないし事実または前提については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性があり、また技術、需要、価格、競争状況、各地の経済環境の変化、為替レートの変動、その他の多くの要因が業績に影響を与えることがあります。

※2019年3月期より、組織体制の見直しに伴い、従来「商事」セグメントに含まれていたマグロ加工事業を「加工」セグメントへ、飼料原料事業を「海外」セグメントへ、中食事業を「加工」セグメントへそれぞれ変更しています。なお、2018年3月期の数値は、変更後の区分方法にもとづき作成したものです。